

食農 ひとくち情報

2026年
7月号
東北農政局



むら 農山漁村の宝

募集期間

8月31日(月)まで

ディスカバー農山漁村の宝とは？

「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の地域資源を活用した、地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信するものです。

平成26年から実施し、令和7年までに375の優良事例を選定しております。



第12回選定地区 株式会社スタディア

選定の対象となる取組 - 下記のいずれかに該当するもの -

- ① 美しく伝統ある農山漁村を次世代へ継承する取組
- ② 幅広い分野・地域との連携により農林水産業・農山漁村を再生する取組
- ③ 農林水産業の生産性向上、農林水産物や食品の需要拡大・付加価値向上に資する取組

優良事例の選定 - 生産性向上部門・需要拡大・付加価値向上部門 -

30地区(者)程度を優良事例として選定し、その中から部門ごとに「優秀賞」(生産性向上部門、需要拡大・付加価値向上部門)を選定。部門を問わず、選定された中から最も優れた取組を「グランプリ」、分野ごとに先鋭的な取組に対して「特別賞」を選定し表彰します。

また、全国選定されなかった優良地区から「東北農政局ディスカバー農山漁村(むら)の宝」や今後活躍が期待できる取組を奨励賞として選定します。特設サイト(以下、参照)より、ご応募ください。



第12回選定地区 庄内赤川土地改良区

※「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」の詳細は、二次元バーコードからWebサイトをご覧ください。
<https://www.discovermuranotakara.com/sentei/> (外部リンク)

お問合せ先：東北農政局 農村振興部 農村計画課 022-263-1111 (内線4125)



農福連携に取り組む優れた事例を表彰！ 「ノウフク・アワード2026」募集開始！

募集期間

8月24日(月)まで

農福連携等応援コンソーシアム(事務局：農林水産省)は、農福連携に取り組んでいる優れた事例を表彰する「ノウフク・アワード2026」の募集を開始しました。



○募集対象

農林水産業と福祉等の多様な人材が連携し、障害者等(高齢者や生活困窮者、ひきこもりの状態にある者、犯罪をした者等を含む。)が農林水産分野で能力を発揮することによって、農林水産分野と福祉分野が抱える様々な課題の解決、障害者等の社会参画、農林水産業の維持・発展や地域活性化の実現に貢献している団体等が対象です。

次の「ノウフク・アワード2026 特設サイト」から応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、応募フォームよりファイルをアップロードして、ご応募ください。その際、自薦・他薦は問いません。

ノウフク・アワード2026 特設サイトURL: <https://noufuku.jp/award/> (外部リンク)

お問合せ先：東北農政局 農村振興部 都市農村交流課 022-263-1111 (内線4121,4118)



地域からの便り



各県拠点では「農山漁村の季節の風物詩」、「農産物直売所、農漁家民宿等の取組」、「村おこしイベント」、「農山漁村の行事、お祭り」、「郷土料理」など東北各地域の取組や様子などを東北農政局HPで紹介しています。

途絶えかけた伝統を守り次の時代へ「秋田八丈」

—秋田県・北秋田市— (2026年3月5日掲載)

江戸時代に生まれた伝統的絹織物「秋田八丈」は、一度途絶えましたが、かつて機織場で働いていた奈良田登志子さんの尽力により復活しました。現在は唯一の伝承者として技術を守りつつ、新商品開発や後継者育成に取り組んでいます。弟子の藤原さんも日々研鑽を積んでおり、さらなる発展が期待されています。



長年使い込まれた機織機を使った機織り作業



異業種参入による地域農業の活性化事例

—山形県・最上町— (2026年6月22日掲載)

山形県最上町は、農林業と観光を基幹産業とし、厳しい自然環境のもと水稻を中心とした複合的な農業が展開されている地域です。もがみグリーンファームは建設業から農業に参入し、もみ殻を再利用した固形燃料「モミカライト」の製造・活用に取り組む、環境負荷の低減と資源循環を推進しています。農地整備や高齢者の離農に対する受託で耕作放棄地の解消にも取り組み、さらには働きやすい職場づくりを進めて、人材の確保と定着につなげています。



もがみグリーンファームの皆さん



「モミカライト」販売のようす



eaTOHOKU Library (イーとうほくライブラリー) ～東北の未来の食のために私たちにできること～

みどりの食料システム戦略の実現に向けた取組を幅広く周知するため、東北管内の図書館等において、出張展示を行っています。

令和8年5月30日～6月29日、八戸市立図書館（青森県）が実施する期間展示「考えよう！地球の未来」と併せ、「食」「環境」への理解と関心を広げるためリーフレットを配置し、「東北の未来の食のために私たちにできること」をテーマにパネル展示を実施しました。



八戸市立図書館 出張展示

【お問合せ先】

消費・安全部 消費生活課：022-263-1111
(内線4317、4318)



食育ネットとうほく ただいま会員募集中！

●こんな活動します。

- ✦ 食育に関する施策や情報をお知らせします。
- ✦ 会員のプロフィールや食育活動について、ホームページでご紹介します。
- ✦ 会員が取り組むイベント情報や体験活動の告知などの情報を広く発信し、会員相互の情報交換・協力・連携をサポートします。

●入会できる方

- ✦ 東北地域で食育に取り組んでいる方、これから食育に取り組むことをお考えの方で、「食育ネットとうほく」の主旨に賛同していただける企業・団体・学校・NPO法人・個人などの皆さまが対象です。
- ※ 営利・勧誘の事実が確認された場合には、退会していただきます。



●お申込み・お問合せはコチラ

東北農政局 消費・安全部 消費生活課
電話：022-263-1111
(内線4326、4111)



東北農政局ホームページからも
お申込みいただけます。



夏休みこども見学デー

2026年8月7日(金)

仙台合同庁舎A棟 で開催します！

※詳細は現在調整中です。
内容や申込方法等は、後日ホームページでご確認ください。



昨年の夏休みこども見学デーの様子

【お問合せ先】

企画調整室 広報担当：022-263-1111 (内線4500、4313)

◆「食・農ひとくち情報」の詳しい情報は、東北農政局ホームページをご覧ください。@MAFF_TOHOKU
<https://www.maff.go.jp/tohoku/hitokuti/index.html>

◆「食・農ひとくち情報」の問合せ先：東北農政局企画調整室支援チーム
022-263-1111 (内線4402、4076)



東北農政局 公式 X
アカウントはこちら

@maff Tohoku
東北農政局公式
Instagram
アカウントはこちら

